

⑥ 吹奏楽アカデミー専攻

入学試験科目

1. 外国語

【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す）
- (2) 本学が行う試験（英語・60分）
- (3) 資格試験
詳細は「⑥一般選抜概要」を参照のこと。

【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する（大学入学共通テスト等は利用しない）。

※英語を母語とする者または国内外を問わず中高等教育において3年以上継続して主として英語で教育を受けた者は免除する。ただし、通常の課程による3年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。

2. 楽典（50分）

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 選択科目 以下の課題の（A）～（D）より1つを選択する。

（A）新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

（B）初見演奏 12小節程度の旋律を1曲

専攻実技時に1分間の予見、無伴奏で演奏する。試験順は、専攻実技 → 初見演奏 → 面接および口述試問、となる。

（C）聴音（30分） 旋律聴音（8小節程度）・・・各専攻共通1題および専攻別1題 和音聴音・・・高音部譜表による三和音、4小節程度



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

（D）副科実技（ピアノ）

※すべて暗譜で演奏すること。

- (1) 音階：同一調号による長調と短調を、任意に選択して演奏する。
ハノン No. 39、または本学指定の音階楽譜（本学ホームページよりダウンロード）のいずれかを使用すること。ハノン No. 39 の場合は、速度は♩=76 程度以上、長調は繰り返しなしで終止カデンツをつけ、短調は和声的短音階を1回弾いた後に続けて旋律的短音階を1回弾き終止カデンツをつける。本学指定の音階の場合、この速度は二分音符=72 程度以上とする。
- (2) 自由曲：ソナチネ、ソナタ、バッハのインヴェンション程度の楽曲を1曲。ソナチネ、ソナタの場合はその任意の楽章を1つ。
※繰り返しは任意。

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。作品番号、調性なども記入すること。

4. 面接および口述試問

5. 専攻実技

下記の専攻実技の課題を演奏すること。いずれも特殊管による演奏可。

演奏箇所は当日試験委員が指定する。試験委員からの合図があるまで演奏すること。

課題曲

吹奏楽アカデミー木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

次の音型によって音階および分散和音を長調と短調（和声的）それぞれ1つずつ演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜で演奏すること。

長調



短調



(2) 次の中から任意の一曲を選び演奏すること。

J. Andersen: 24 Studies. [または Etudes.] Op. 21 (J. アンデルセン『24の練習曲』作品21) より第4番, 第10番, 第24番

E. Koehler[または Köhler] : 12 Medium Difficult Exercises. Op. 33-2 (E. ケーラー『12の中級練習曲』作品33の2[または『35の練習曲』作品33の第2巻]) より第5番, 第10番, 第12番

※版の指定なし。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■オーボエ

(1) 音階

次のA、Bいずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は任意。短音階は和声的または旋律的を任意選択。暗譜で演奏すること。

A例



B例



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■クラリネット

⇒エス・クラリネット～バスクラリネットまでどの特殊管で受験してもよい。

(1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) より各調の1番をスラーで演奏すること。長調と短調をそれぞれ任意で1つずつ。繰り返しなし。暗譜で演奏すること。

(2) C. Rose : 32 Etudes (C. ローズ『32のエチュード』) より任意の奇数・偶数番号を1曲ずつ選択し2曲を演奏すること。

※(2)は版の指定なし。繰り返しは任意。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■ファゴット

(1) 音階

次の音型によって、長音階と短音階(和声的)を演奏すること。調性、スラー等は任意。暗譜で演奏すること。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 (J. ヴァイセンボーン『50の練習曲』作品8第2巻)のNo.1-15より任意の2曲。

※版の指定なし。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

■サクソフォーン

⇒ソプラノ、アルト、テナー、バリトンのどの楽器で受験してもよい。

(1) 音階

次の音型によって、長音階と短音階(和声的)をスラーで演奏すること。調性は全調の中から任意。暗譜で演奏すること。繰り返しなし。



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones

(F. W. フェルリンク『サクソフォーンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版(A. Leduc)])より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること(電子楽譜は使用不可)。

吹奏楽アカデミー金管楽器

金管楽器共通課題（音階および分散和音）

次の音型によって、長音階と短音階（和声的または旋律的）を演奏すること。

調性、音域、スラー等は任意。暗譜で演奏すること。

<高音部譜表での例>

Moderato



<低音部譜表での例>

Moderato



■ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Horn (G. コプラッシュ『60のエチュード（ホルン）』) より 任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。ただし、ダル・セーニヨは行う。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■トランペット

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet (G. コプラッシュ『60のエチュード（トランペット）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。ただし、ダル・セーニヨは行う。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■トロンボーン、バス・トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード（トロンボーン）』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。ただし、ダル・セーニヨは行う。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

※バス・トロンボーンで受験する場合は1オクターヴ下げて演奏してもよい。

■チューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (G. コプラッシュ『60のエチュード(チューバ)』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。ただし、ダル・セーニョは行う。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

※使用する楽器の管の種類は問わない。

■ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

(2) G. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』) より任意の2曲

※版の指定なし。繰り返しなし。ただし、ダル・セーニョは行う。暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

吹奏楽アカデミー打楽器

(1) 打楽器共通課題

① 鍵盤打楽器による2オクターヴの長音階と短音階。調性は調号3つまでの調から任意。

音型は自由。ただし、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

※楽器はシロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンより選択すること。

② 小太鼓による2つ打ち（楽器は各自持参のこと）

(2) 楽器別課題

下記のいずれか1つを選択すること。

■ティンパニ

R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger Music) の No. 8, 9, 10のうち、任意の2曲

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■小太鼓

W. F. Ludwig : Collection Drum Solos (Ludwig Music) より The Connecticut Halftime

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

■鍵盤打楽器

M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より V, VII のどちらか1曲

※(1) ①と同一楽器で演奏すること。

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

吹奏楽アカデミー弦楽器

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。暗譜の必要なし。

The image shows three staves of musical notation for a double bass. Each staff begins with a tempo marking of quarter note = 60. The first two staves are in G major (one sharp) and the third is in C major (no sharps or flats). The notation includes various rhythmic patterns, slurs, and dynamic markings like 'V'.

(2) F. Simandl : 30 Etudes for the String Bass (C. Fischer) より任意の1曲、または任意の自由曲を1曲。

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

※オーケストラチューニング

※伴奏なし。

■ハープ

任意の自由曲1曲

※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

※伴奏なし。